

# 愛言葉「あいさつ・ききかた・そろえかた」

- ①自分からすすんであいさつをする
- ②話す人の顔を見てしっかりと話を聴く
- ③靴のかかとを靴箱の手前のへりにそろえる

## 「挨拶」の意味

挨拶（あいさつ）という文字の「挨」は「ヒラク」と読みます。また、「拶」は「セマル」と読みます。つまり、あいさつとは「自分の方から先に心を開いて相手に迫る」という意味で「先に（自己開示）すること」であり、人間関係を築くきっかけでもあります。

- 一、あ…明るく
- 二、い…いつでも
- 三、さ…先に
- 四、つ…続ける

新年度がスタートして来週で3週間になりますが、あいさつを返す声がほとんど聞こえなかったり、下を向いたままあいさつをしたりと定着には時間がかかりそうですが、根気強く指導を続けていきます。ご家庭でのあいさつも声掛けをよろしく願います。



## いずかし

## あいうえおの音が響き渡る本校に

令和7年4月23日

文責：校長

## 授業参観ようぐん参観ようぐん

5月2日（金）に授業参観を行います。一年生にとつては小学校生活初めての授業参観になるので、とても楽しみにしていることでしょう。

懇談会では、短い時間ですが学級担任から子どもたちの良きや課題を話すことになり、保護者の皆様と情報を共有し、これからの成長に結びつけるきっかけになればと思います。保護者の皆様、ご家族の皆様のご来校をお待ちしております。

○ 期日 5月2日（金）  
○ 日程

【一人一役決め】13時（体育館）

【授業参観】14時5分

14時50分（各教室等）

【PTA総会】15時5分

15時50分（体育館）

【学級懇談会】16時

16時30分（各教室）

## 心身相即

心身相即（しんしんそうそく）の「相即」という言葉は仏語で、互いに密接に関連し融け合うという意味です。人間の心と身体は密接に関わり合っており、からだに受ける影響が心にまで影響を与えるという意味です。本校では今年度から『立腰（りつよう）タイム』を朝の会

の前に一分間実施しています。この立腰とは、腰骨をいつも立てて曲げないようにすることによって、自己の主体性の確立をはじめとした人間形成を実現するという目的で、教育哲学者の森信三先生が提唱されたものです。

日本では古来から「道」と名の付くものでは茶道や華道、また踊りや謡曲等の芸能に始まり、さらに弓道や剣道等の武道にいたるまで、全てこの根本の姿勢を厳しく教えられます。科学的な根拠で説明を求められると難しいですが、腰骨を立てて背筋をピンと伸ばすことによって、集中力が高まり話をよく聴き考える力が身に付き、結果的に学習の効率が上がります。

この取り組みを継続することによって植柳小の子供たちが少しでも学びに向かう姿勢が高くなることを期待しています。

## 週末からゴールデンウィーク

明日から、いよいよ連休となります。きつと子供たちも楽しみにしていることでしょう。安全に気をつけて行動してほしいと思います。自転車で道路にとび出したり、川に入ったり遊ぶことがないようにしてほしいと思います。昨年は連休中に小学生が川に入って遊び、亡くなってしまうという報道に胸を痛めました。また、八代管内でも、小学生が自転車に乗って道路に飛び出し事故に遭ったという報告を多数聞いております。

ご家庭でも安全に過ごすために気をつけることなどを話題にしてください、子供たちが笑顔で過ごせますよう、お声掛けよろしくお願いします。



立腰に取り組む4年生



なり、学力の向上につながることを期待しています。